

熊本子どもの本の研究会（地域文化活動部門）



概要

発 足 昭和五十八年五月
代 表 横田 幸子
会 員 数 一二〇名
所 在 地 熊本市西原一丁目一五―二四
電 話 番 号 〇九六（三八二）五〇九〇
主 な 活 動 地 県 内

子どもの本と読書について理解を深め、「お話」を子どもに語って聞かせるために月四回の学習会と年四、五回講演会を開催し、学んでいる。研究会で学んだことを活かして、家庭文庫や地域文庫を開くほか、保育園、幼稚園、小学校などのお話の会は各地で定着しており、地域の子供たちの環境作りに貢献している。五周年記念事業として発足した「昔話を楽しむ九州交流会」はその後九州各県持ち回りで開催されており、その事務局として九州交流会の中心的存在として活動している。また平成4年には、十周年記念事業として県内二十会場で五回連続延べ百回の「お話講座」を開催。加えて県内十二箇所子ども文庫を設置するなど女性のパワーで精力的に活動している。特に、一年間の活動内容をまとめた機関誌「初茜」の評価は高く、全国から問い合わせもあり、毎年発行が待たれている。今後とも、本県の文化の向上のみならず、青少年の健全育成の面でも大いに期待されている。

これまでの活動歴

- ・ 昭和五十八年 西原文庫のメンバーを中心に主婦ら九人が世話人となり、発会。会報を毎月発行、現在一一五号。第一回講演会開催、以後毎年四、五回開催。定例学習会を月一回実施、平成元年からは月四回実施
- ・ 昭和五十九年 機関誌「初茜」発刊、現在八号
- ・ 昭和六十二年 五周年記念事業「昔話を楽しむ九州交流会」を実施。九州各県から参加
- ・ 平成三年 十月、十周年記念事業スタート第一回「くまもとお話の交流会」開催
- ・ 平成四年 県内二十会場で「お話の講座」（連続五回）及び公開「お話の会」を開催。県内十二箇所に子供文庫を設置